

## 【明細書記載例】

※同封の種類別明細書は、前年度申告いただいた内訳になります。

### 1 増加資産 (令和2年中に取得した資産)

記載用紙—種類別明細書(白紙の用紙に記入してください)

新規に取得した資産については下の記載例により記入してください。  
また、前年以前に取得した申告漏れの資産がある場合も記入してください。

「※削除」は誤って申告した資産を削除する場合の異動区分です。

所有者コード				行政区		令和 年度		所有者名										頁											
								株式会社 ○○製作所										1/1											
種類別明細書																													
異動区分				資産の種類		資産コード		資産の名称等		数量		取得年月		取得価額		耐用年数		減価残存率		価格		課税標準の特例		課税標準額		減少区分		摘要	
増加	訂正	減少	※削除	行番	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	年号	年	月	取得価額	耐用年数	減価残存率	価格	率	コード	課税標準額	1:全部	2:一部	摘要								
①				1	1		③ アスファルト舗装工事	1	4	23	3	1,386,000	10			/			1・2		新規								
①				2	3		船舶	1	4	23	10	25,500,000	7			1/2	506		1・2		特例								
①				3	6		パソコン	1	4	21	12	320,000	4						1・2		申告漏れ								

④資産の数量を記入してください。

③資産の名称を記入してください。

⑤資産の取得年月を記入してください。

⑥当該資産を取得するために支出した金額を記入してください。なお、改良費等の支出は、本体部と区別して記入してください。また、圧縮記帳されている資産については圧縮記帳前の

⑦減価償却資産の法定耐用年数(大蔵省令)を記入してください。

⑧増加理由を記入してください。

①増加の場合は、異動区分1に○印をつけてください。

②該当する資産の種類番号(1～6)を記入してください。  
1 構築物  
2 機械及び装置  
3 船舶  
4 航空機  
5 車両及び運搬具

### 2 訂正

記載用紙—種類別明細書

記載されている内容に訂正がある場合は、  
1) 訂正箇所を2本線で抹消し、その該当上欄に正しい名称、数値等を記入してください。  
2) また、右端の摘要欄に理由等を記入してください。

異動区分				資産の種類		資産コード		資産の名称等		数量		取得年月		取得価額		耐用年数		減価残存率		価格		課税標準の特例		課税標準額		減少区分		摘要	
増加	訂正	減少	※削除	行番	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	年号	年	月	取得価額	耐用年数	減価残存率	価格	率	コード	課税標準額	1:全部	2:一部	摘要								
	②			1	2	111	天井走行クレーン	1	4	7	1	51,092,000	6	②		/			1・2		耐用年数申告誤り								
	②			2	2	112	骨材輸送設備	1	4	7	1	52,000,000	6			/			1・2		金額訂正								
	②			3	2	113	電気動力設備	1	4	7	1	12,428,000	6			/			1・2		名称誤り								

①訂正の場合は、異動区分2に○印をつけてください。

②訂正箇所の上欄に正しい内容を記入してください。

③訂正理由を記入してください。

### 3 減少(全部・一部)

記載用紙—種類別明細書

償却済みの資産でも、現在使用中の資産については、減少資産の対象とはなりません。  
※廃棄・売却等で減少した資産が対象となります。

**<注意> 一部減少の場合は、実際に減少した数量・取得価額を記入してください。**

例) 2台で546,000円(220,000円+326,000円)で取得したエアーコンプレッサーのうち、220,000円の方を廃棄した場合(下の記載例2行目)

異動区分				行 番 号	資産 の 種 類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月			取得価額	耐用 年数	減価 残存 率	価格		課税標準 の特例		課税標準額	減少区分		摘要
増加	訂正	減少	※ 削除						年号	年	月				十億	百万	千	円		率	コード	
1	2	③	4	1	2	33	試験用圧縮機	② 1	4	4	2	② 80,000	6				/			③ ①・2	④ 売却	
1	2	③	4	2	2	34	エアーコンプレッサー	② 1	3	55	7	② 220,000	6				/			③ ①・2	④ 一部廃棄	

①減少の場合は、異動区分3に○印をつけてください。

②一部減少の場合は、減少した分の内容を上欄に記入してください。

③該当する減少区分  
(全部減少は1、一部減少は2)

④削除理由を記入してください。

220,000円のエアーコンプレッサーを廃棄

### 4 削除

記載用紙—種類別明細書

「削除」は、誤って申告した資産を削除する場合の異動区分です。  
※廃棄・売却等は異動区分3の「減少」となります。

異動区分				行 番 号	資産 の 種 類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月			取得価額	耐用 年数	減価 残存 率	価 格	課税標準 の特例		課税標準額	減少区分		摘要
増加	訂正	減少	※ 削除						年 号	年	月					率	コード		1:全部 2:一部		
1	2	3	④	1	6	2	コピー機	1	4	20	2	十億:百万:千:円 500,000	5		十億:百万:千:円	/		十億:百万:千:円	1・2	申告誤り	
1	2	3	④	2	6	10	自動販売機	1	4	21	7	1,080,000	5			/				1・2	リース資産

①削除の場合は、異動区分4に○印をつけてください。

②摘要欄に削除理由を記入してください。